

一次検診医講習会のあり方を検討

鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会乳がん部会
鳥取県健康対策協議会乳がん対策専門委員会

- 日時 平成26年8月23日（土） 午後2時30分～午後3時20分
- 場所 倉吉未来中心 倉吉市駄経寺町
- 出席者 27人
魚谷会長、石黒部会長、山口委員長
青木・池田・大久保・岡田・工藤・小林・下田・角・長井・長谷川・
林・廣岡・藤井・村上各委員
県健康政策課がん・生活習慣病対策室：米田課長補佐、羽原主事
健対協事務局：谷口事務局長、岩垣係長、田中主任

【概要】

- ・車検診の各地区読影会の要精検率は東部5.44%、中部5.68%、西部3.47%で、西部の要精検率が低かった。医療機関検診においては、東部4.31%、中部10.72%、西部5.86%で、中部の要精検率が高かった。
- ・「マンモグラフィ検診精度管理中央委員会」が「日本乳がん検診精度管理中央機構」に名称変更され、国の「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」も一部改正され、平成26年6月25日から適用されることとなった。これを受け、国の指針に準じて「鳥取県乳がん検診実施に係る手引き」、要綱等の一部改正案が示され、協議の結果、改正案のとおり承認された。
- ・鳥取県乳がん医療機関検診一次検診医登録基準において、新規登録者は一次検診医講習会を受講することとなっている。一次検診医講習会のあり方と内容についての検討を行い、委員からは、新規登録者は年々少なくなっているが、一次検診医講習会は継続して行った方がいい。講習会の内容は、問診の仕方や、触診の方法や自己触診の啓

発等の内容を盛り込んだDVD等の教材を作成してはどうかという意見があった。また、新規登録者が一次検診医講習会に参加できなかった場合についての取扱いについても協議を行った。委員からの意見を踏まえて、講習会の内容、登録基準の見直しについて、今後検討する。

挨拶（要旨）

〈魚谷会長〉

皆様には、日頃から乳がん対策事業にご尽力頂き、深謝致します。本日は、平成25年度乳がん検診マンモグラフィ読影委員会開催状況といくつかの懸案事項が議題に挙がっていますので、皆様方の熱心なご討議を頂き、今後の対策につなげたいと思います。よろしくお願ひします。

〈石黒部会長〉

前回の会議で話がありました「鳥取県乳がん検診発見確定患者予後調査」のデータを現在見ているところであるが、不明な箇所もかなりある。良いデータをだそうとすると、きっちりとしたデータベースが必要だなと感じている。

ご活発なご討議願います。

〈山口委員長〉

本県の乳がん検診は、順調に運営されていると思われる。個人の実感であるが、日常診療の中で患者さんが年々増えつつあると感じている。なるべく早期にがんを発見するには、検診の果たす役割は益々大きくなっていく。今後共、ご協力の程、よろしく願います。

報告事項

1. 平成25年度乳がん検診マンモグラフィ読影委員会開催状況について

平成24年度の各地区読影会実施報告は、以下のとおりである。

東部（山口委員長）－東部医師会館を会場にして、週2回読影会を開催した。計118回開催し、1回の平均読影件数は33件であった。5市町を対象に8医療機関で撮影された写真3,877件の読影を行い、CAT1が3,397件（87.62%）、CAT2が313件（8.07%）、CAT3が148件（3.82%）、CAT4が14件（0.36%）、CAT5が5件（0.13%）であった。比較読影件数は2,448件（63.1%）であった。症例検討会は7月29日と2月26日に開催した。読影委員会は3月24日に開催した。

中部（林委員）－県立厚生病院を会場にして、週1回読影を行った。計40回開催し、1回の平均読影件数は28件であった。6市町を対象に5医療機関で撮影された写真1,119件の読影を行い、CAT1が922件（82.39%）、CAT2が77件（6.88%）、CAT3が109件（9.74%）、CAT4が11件（0.98%）であった。CAT3以上の割合が東部、西部に比べ高い。比較読影件数は646件（57.7%）であった。3月6日に読影委員会と従事者講習会を開催した。

読影委員会においては、中部地区の要精検率がやや高い傾向にあり、これはマンモグラフィ読影

におけるカテゴリ3の症例が多くみられた結果であった。今後、適切なカテゴリ分類を徹底するべく、過去のフィルムを再検討する機会を持ちたいとの意見が出された。建設的な意見であることから、その方向で準備を進める。

西部（石黒部会長）－西部医師会館を会場にして、週2回読影を行い、計47回開催、1回の平均読影件数は33件であった。4市町を対象に1医療機関で撮影された写真1,569件の読影を行い、CAT1が1,274件（81.20%）、CAT2が203件（12.94%）、CAT3が82件（5.23%）、CAT4が6件（0.38%）、CAT5が4件（0.25%）であった。比較読影件数は1,115件（71.1%）であった。その他は各医療機関で読影をされている。症例検討会を3月20日に開催した。

2. その他

平成25年度鳥取県保健事業団の乳がん検診実施状況について、大久保委員より報告があった。読影件数は東部3,177件で、要精検率5.44%、中部3,223件で、要精検率5.68%、西部2,483件で、要精検率3.47%であった。比較読影実施率は約80%である。

東部、中部の要精検率は5%台であるが、西部が低い傾向にある。

委員からは、年齢別に集計をしてほしいという要望があった。

協議事項

1. 鳥取県乳がん医療機関検診一次検診医登録更新について

一次検診医登録基準は以下のとおり、実施要綱で定められている。

鳥取県乳がん医療機関検診一次検診医登録基準

- 1 登録資格は医師とし、専攻科は問わない。
- 2 乳がん検診従事者講習会等の受講点数を過去3年間に12点以上取得していること。ただし、乳がん検診 従事者講習会及び鳥取県検診発見がん

症例検討会には、必ず1回は出席していること。

3 新規登録の場合は、次のいずれかを受講すること。

(1) 原則として健対協の主催する一次検診医講習会を受講すること。

なお、この講習会は、乳がん及び乳がん検診についての一般的知識、特に視診及び触診に重点をおいた診断法、触診の実技の習得を目的とし、乳がん検診従事者講習会及び鳥取県検診発見乳がん症例検討会に引き続いて年1回開催するものである。

(2) (1) の講習会を受ける事ができなかった場合は、部会等の長が指名した部会及び委員会の医師系委員から(1)に準じた指導を受けること。この場合、指導した医師が、一次検診医として十分能力が得られたと認定した時点をもって終了する。

4 上記2、3にかかわらず、次に該当する場合は、登録できるものとする。

(1) 日本乳癌学会認定の専門医、認定医

(2) 日本乳癌学会又は日本乳癌検診学会の役員

新規登録の場合は、原則として健対協の主催する一次検診医講習会を受講することとしている。一次検診医講習会は約30分間程度で、内容については、講師にお任せしているが、乳癌触診モデルを実際に触れてもらい、しこりのある状態を体感してもらっている。

一次検診医講習会のあり方と内容についての検討を行った。

委員からは、新規登録者は年々少なくなっているが、一次検診医講習会は継続して行った方がいい。講習会の内容は、問診の仕方や、触診の方法や自己触診の啓発等の内容を盛り込んだDVD等の教材を作成してはどうかという意見があった。

また、一次検診医講習会を受講できなかった場合は、部会等の長が指名した部会及び委員会の医

師系委員から指導を受けることとしているが、該当者がほとんどなく、別に指導の機会を設けることも難しいため、この部分は削除することとなった。

年度途中の県外からの異動等で一次講習会を受講できなかった場合、乳がん部会長及び乳がん対策専門委員会委員長の両者が適当と認めた者は登録してはいいのではないかという意見もあった。

以上の意見を踏まえて、講習会の内容、登録基準の見直しについて、今後検討する。

2. 鳥取県乳がん検診実施に係る手引き等の一部改正について

「マンモグラフィ検診精度管理中央委員会」が「日本乳がん検診精度管理中央機構」に名称変更され、国の「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」も一部改正され、平成26年6月25日から適用されることとなった。これを受け、国の指針に準じて「鳥取県乳がん検診実施に係る手引き」、要綱等の一部改正案が示され、協議の結果、改正案のとおり承認された。

3. 「かかりつけ医連携受診勧奨強化事業」に係るリーフレット及びポスターの作成について

今年度、健対協は県の委託事業として、県内のかかりつけ医と連携し、かかりつけ医を通じたがん検診の重要性等の啓発や受診勧奨を行うことにより未受診者を掘り起こし、がん検診の受診率向上を図ることを目的にリーフレット及びポスターを作成することとなった。

リーフレット(A4版、3つ折り、両面フルカラー)。

リーフレットの作成案を提示し、乳がん検診の内容を中心に委員よりご意見を伺ったが、特に意見はなかった。

今後、他の委員会の意見も伺いながら、最終案をとりまとめる。

乳がん検診従事者講習会及び第22回鳥取県検診発見乳がん症例検討会

日 時 平成26年8月23日（土）
午後4時30分～午後6時20分
場 所 倉吉交流プラザ 倉吉市駄経寺町
出席者 71名
（医師：64名、看護師・保健師：3名、
その他関係者：3名）

岡田克夫先生の司会により進行。

講 演

鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会乳がん部会長 石黒清介先生の座長により、岡山大学病院 乳腺・内分泌外科教授 土井原博義先生による「乳がん検診の現状と対策」の講演があった。

第22回鳥取県検診発見乳がん症例検討会

鳥取県健康対策協議会乳がん対策専門委員会委員長 山口由美先生の司会により3症例を報告して頂き、検討を行った。

1) 東部症例（1例）：鳥取赤十字病院

山口由美先生

2) 中部症例（1例）：野島病院 林 英一先生

3) 西部症例（1例）：鳥大医学部

胸部外科 廣岡由美先生

乳がん検診一次検診登録講習

林 英一先生を講師として、乳がん検診一次検診登録講習を行った。5名の参加があった。